

JGN II イベント利用報告書

イベント番号(イベント-212)

提出日 平成19年5月17日

(1) イベント名

「IHE-J セミナー」 (「第10回 IHE workshop in 高松」)

(2) イベント概要

【目的】

JGN II のPR及び利用促進のため。

【内容】

第10回 IHE workshop in 高松が、高松サンポートホールBBスクエアで開催されるにあたって、プログラム第2部中級編において、JGN II を利用して、会場の状況を札幌・長崎へライブ中継するとともに、札幌医大の辰巳治之先生、ならびに長崎県立大の立石憲彦先生から、北海道と九州における、医療ITの利用、特に遠隔医療に関する講演をライブで行い、あわせてJGN II に関してもPR及び利用促進を行いました。

1 日時等 平成19年5月12日(土) 10:00~17:25

2 会場 高松市 e-とぴあ・かがわ BBスクエア

3 主催等

主催：日本IHE協会

共催：第32回JPACS 医用画像電子化研究会

後援：日本放射線技術学会、日本画像医療システム工業会、
医療情報システム開発センター

四国総合通信局、JGN II 四国連絡協議会、香川大学医学部附属病院医療情報部

4 プログラム

第1部 IHE の概要 初級編

開会の挨拶 IHE 渉外委員長 安藤裕

「誰でもわかるIHE」 司会 安藤裕

「IHE の活動」 司会 松田恵雄

第2部 中級編 「IHE の利用」

「地域連携」 司会 江本豊

1. 地域連携プロジェクト (45分)

・香川県におけるITネットワークを用いた連携医療 香川大学 原 量宏

・ITを用いた戦略的防衛医療構想 札幌医大 辰巳治之

・長崎県における遠隔医療 長崎県立大 国際文化経済研 立石憲彦

2. IHE で情報連携がこう変わる (20分) 埼玉医大総合医療センター 松田恵雄

3. 地域連携から見たIHE (20分) 京都医療科学大 細羽実

4. 名古屋プロジェクト(25分) 名古屋大学 水野正明

「行政からのIHE-Jへの期待」 司会 山本裕

1. 経済産業省の立場から (20分)

経済産業省 商務情報政策局 医療・福祉機器産業室室長 堀口 光

2. 厚生労働省の立場から (20分)

厚生労働省 医政局研究開発振興課医療機器・情報室 管理係長中安一幸

3. IHE 協会 今後の展開 (20分)

厚生労働省 医政局研究開発振興課医療機器・情報室 管理係長中安一幸

(3) JGN 2 利用の概要

全般にわたって、長崎-札幌-高松間で講演状況をライブ中継し、第2部(地域連携プロジェクト)においては、札幌・長崎のそれぞれから遠隔講演を行いました。

映像配信については、DVTSによる伝送を行いました。

(4)申請者(イベントの責任者)

所属機関： 総務省四国総合通信局

所属部署等： 情報通信部

(5)イベントの利用にかかる連絡窓口

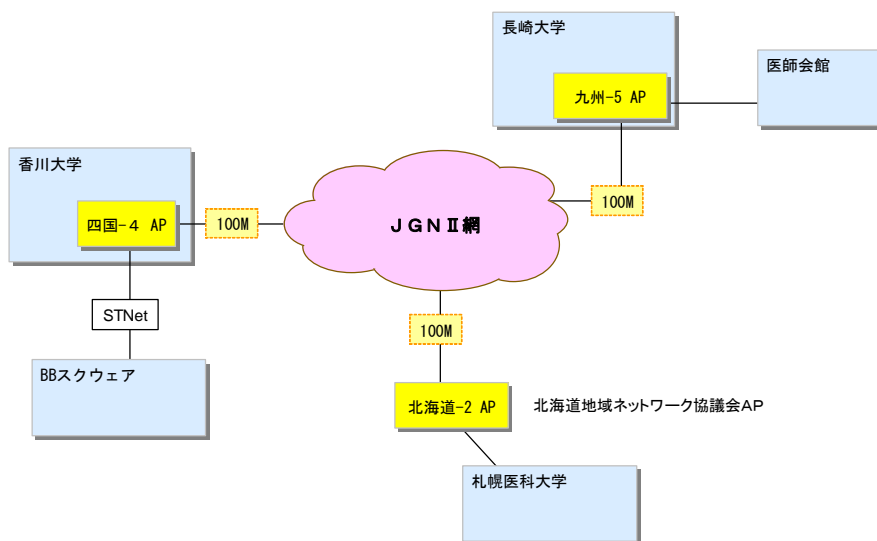
所属機関： 総務省四国総合通信局

所属部署等： 情報通信部

(6)トポロジ(NW 及び機器構成詳細)

ア. 接続概念図

IHE-Jセミナー ネットワーク構成: L2/uni-cast



(7)参加人数

高松会場(BB スクエア) 75人 長崎会場 10人 札幌会場 6人

(8)実施の評価

ア 評価

当日は、IHE(医療に係わる医療情報の利用を推進し、現場でそれが快適に運用されるとともに、総合的な医療の質の向上を目指す)のワークショップとして、医療関係者と医療ITに関して中心的に取り組んでおられる経済産業省と厚生労働省の担当者の参加があり、セミナーのプログラムではありましたが、JGNⅡを使用した遠隔講演について、きれいな画像がとぎれもなく送られ、札幌と長崎の2か所から素晴らしい講演をして頂き、参加者全員が感動していました。また、長崎会場においては会場の様子を長崎ケーブルテレビで放映されたとのことです。

ネットワークにおいて札幌との接続は、従来から接続されているものでしたので特に心配はありませんでしたが、長崎側においては、アクセスポイントから長崎ケーブルメディアの協力を得て足回り回線を新規に確保し、十分にトライアルはできなかったものの、滞りなくJGNⅡを利用することができました。

イ 開催風景

